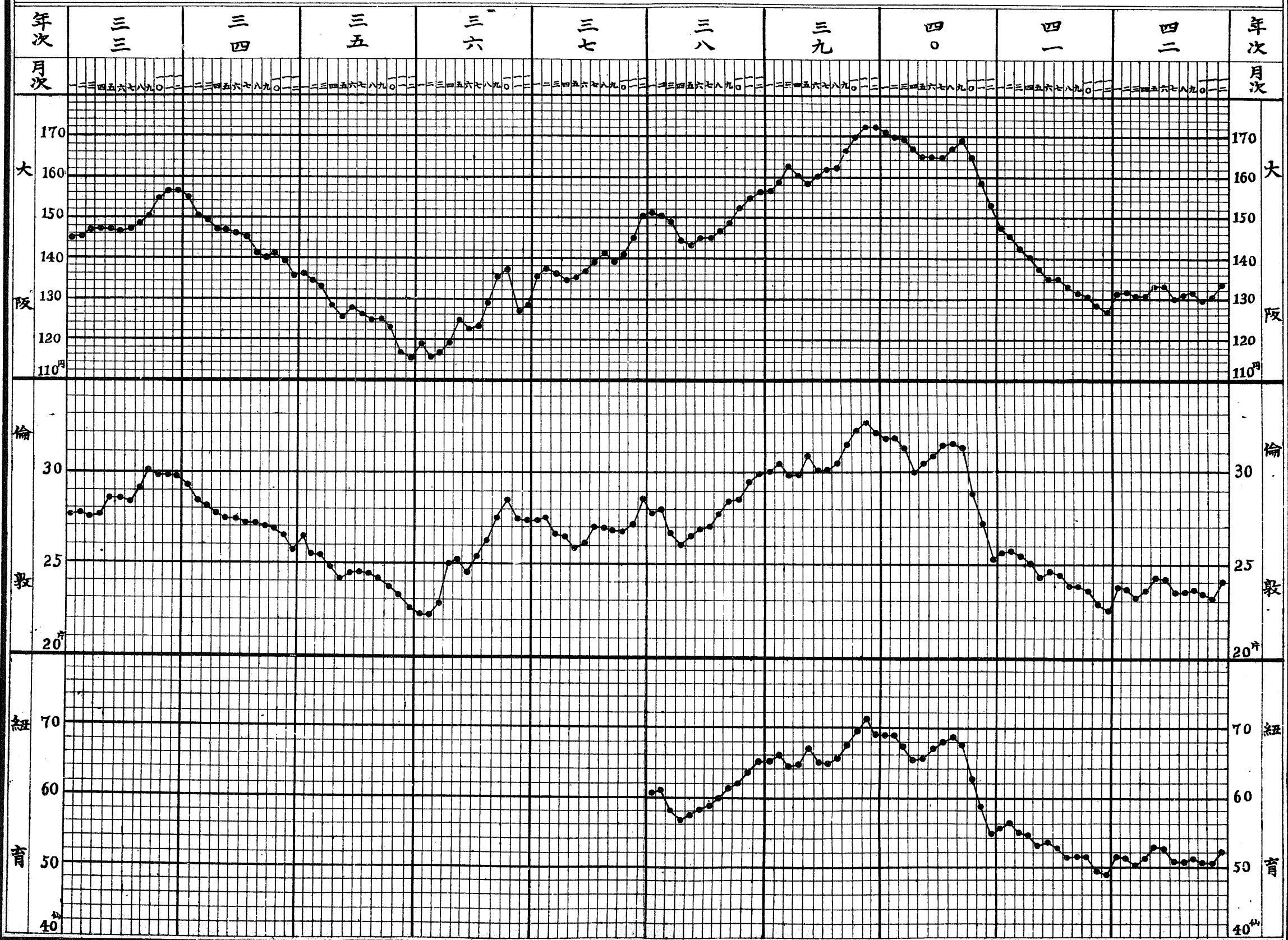


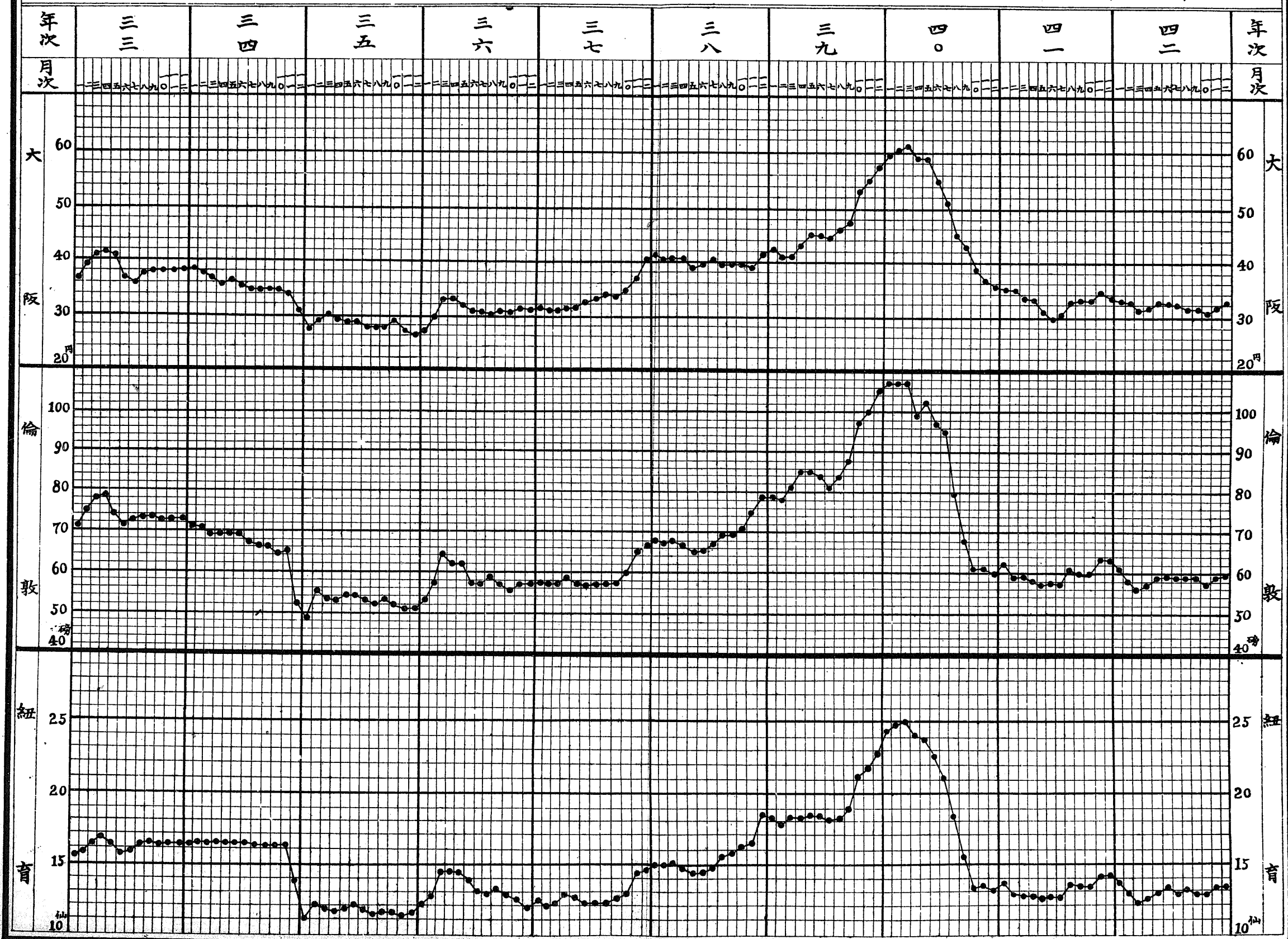
銀市價

大阪ハ一貫目
倫敦紐育ハ一オンス



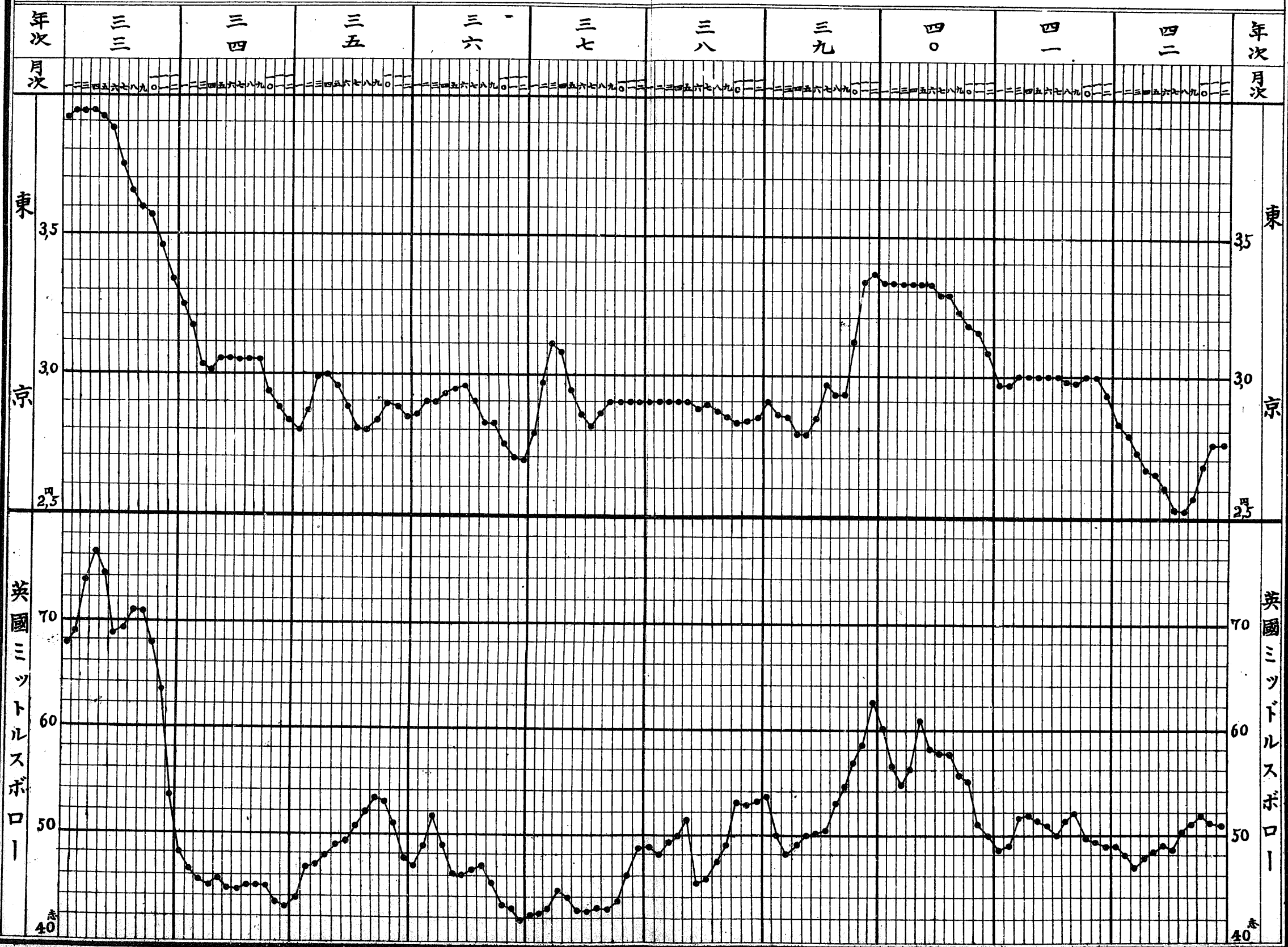
銅 市 價

大阪八百斤
倫敦八百英噸
紐育八百英斤



鐵市價

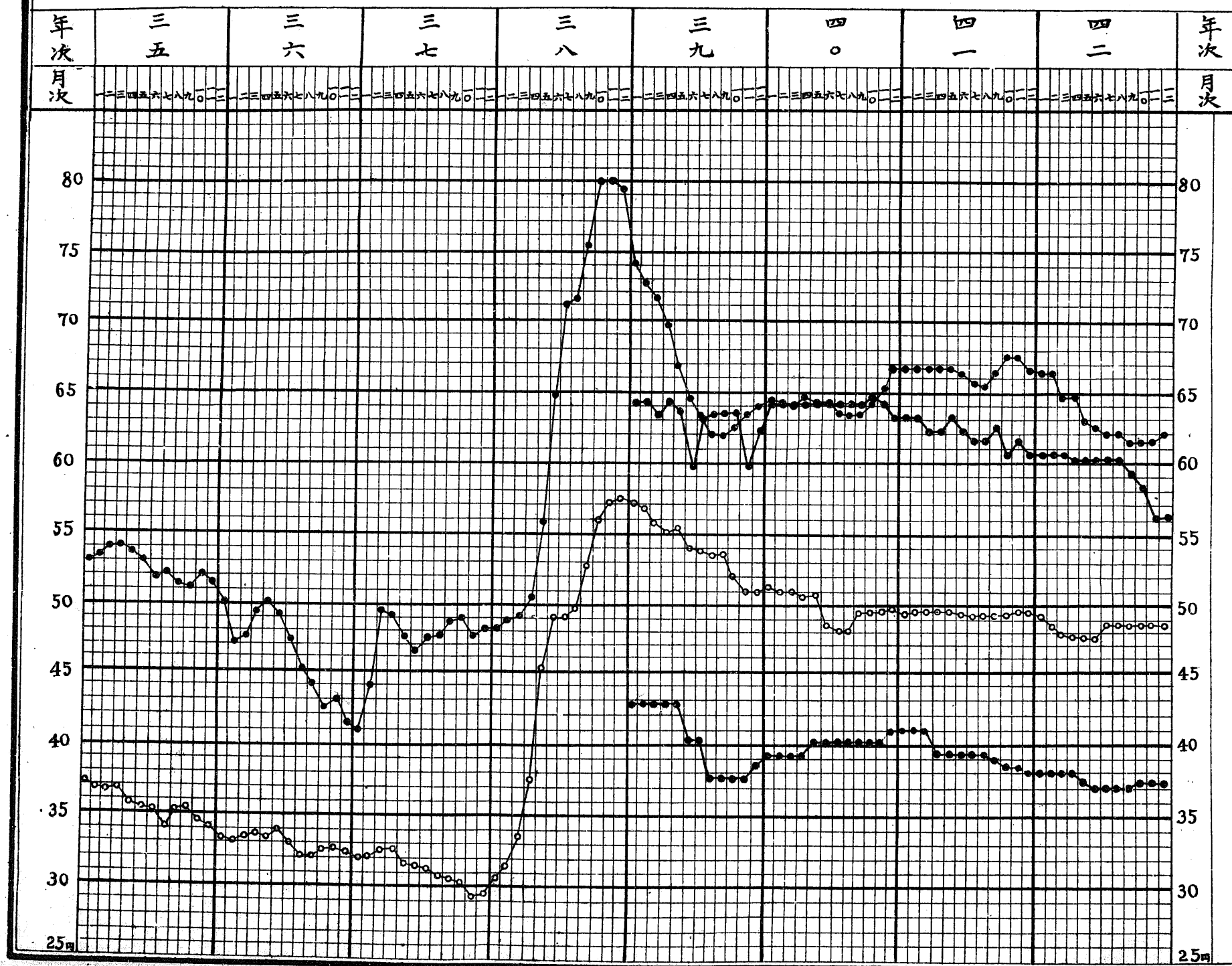
東京ハ洋鐵(九鐵四分)十貫自
英國ハクリーブランド鉄鐵一英噸



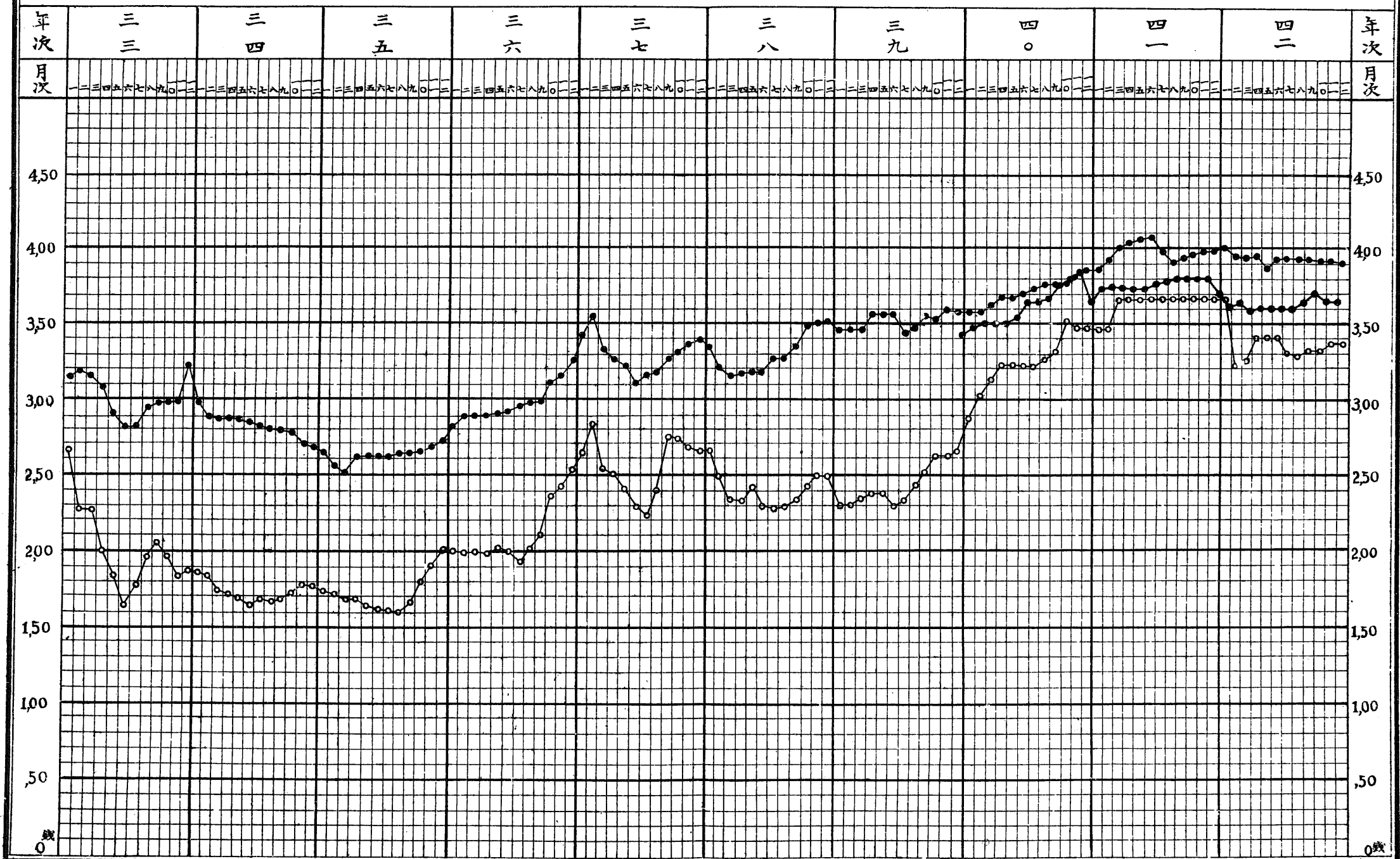
- 唐津炭 (東京市場)
- 夕張炭 (小樽市場)
- 筑豊炭 (門司市場)
- 入山炭 (隅田川市場)

石炭市價

(塊炭一万斤)

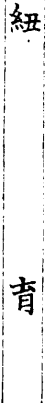


—●— チヤスター(一箱)東京市場
 —●— タンク(全) 全
 —○— 普通油(全)長岡市場



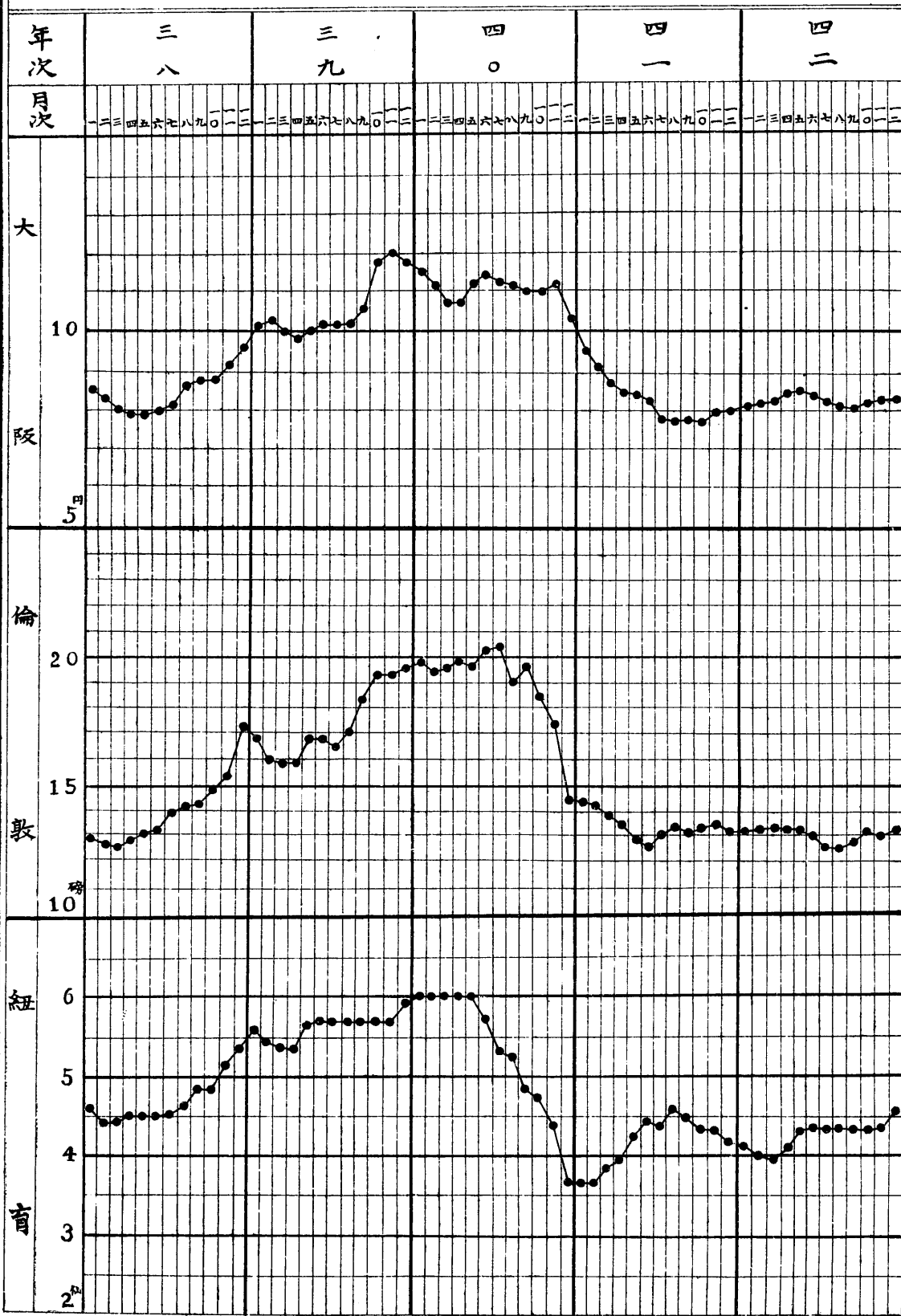
大阪八百斤
倫敦八一英噸
紐育八一英斤

紐育八一英斤



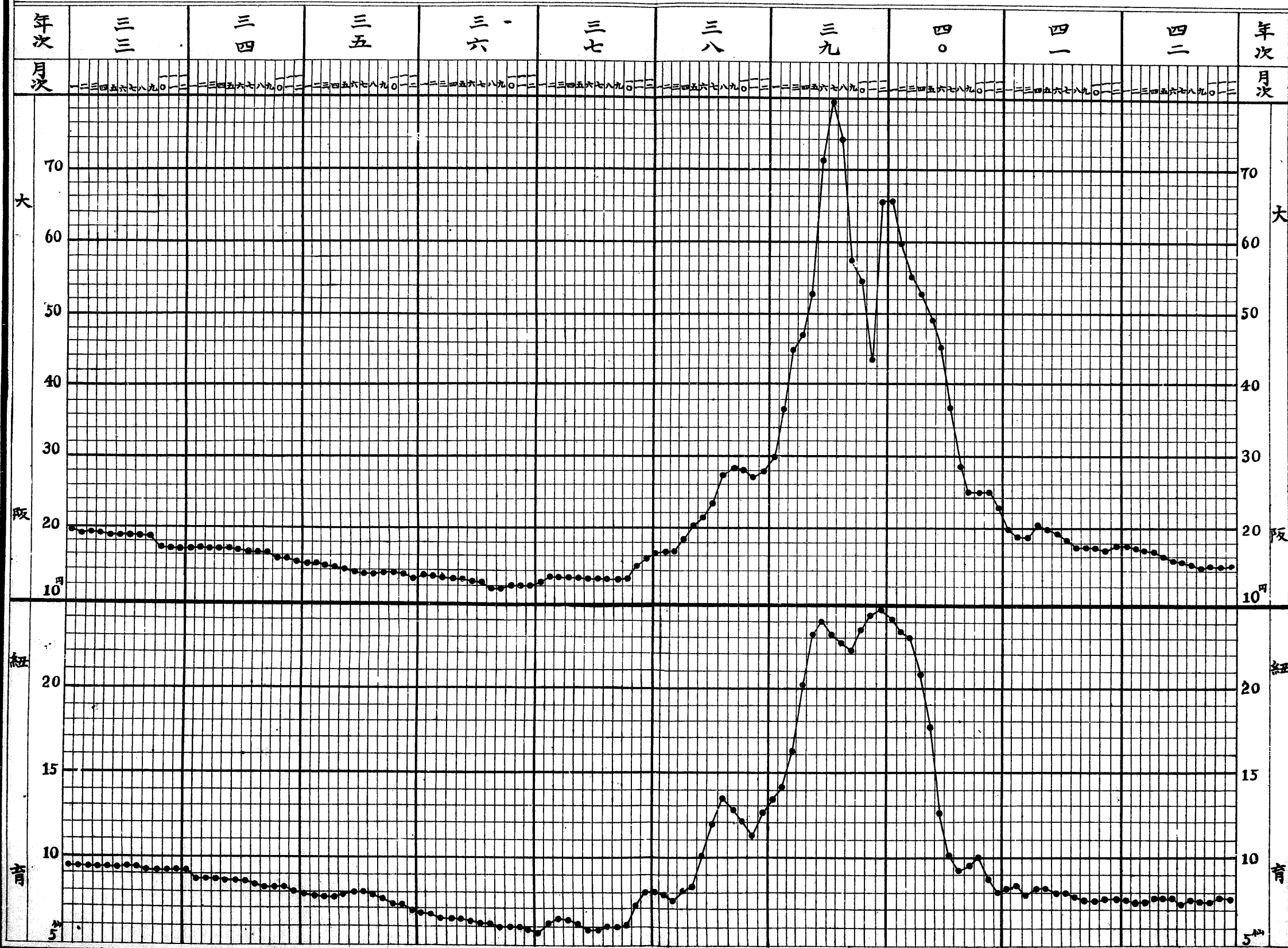
鉛市價

大阪八百斤
倫敦一英噸
紐育一英斤



安質母尼市價

大阪八百斤
紐育ハ一英斤



第六章 鑛產物ノ市價

四十二年中ニ於ケル金屬市場ハ依然トシテ萎靡不振ヲ免レサリシモ之ヲ前年ニ於ケル狀勢ニ比較
 稽査スルトキハ其間多少趣ヲ異ニセルモノアルヲ認ムルコトヲ得ヘシ即チ前年ニ於テハ銀、銅、鐵ヲ
 始メ其他ノ金屬ニ至ル迄殆ント全年ヲ通シ市況甚タ活氣ニ乏シク就中銀ノ如キハ終始下落ノ悲況
 ニアリタルカ四十二年ニ於テハ年初以來市價高低ノ間ニ於テ幾分恢復ノ氣勢ヲ示シ進ンテ下半季
 ニ入リテハ増々其著シキヲ認メタリ然レトモ相場カ月次急劇ナル昂騰ヲ見サリシハ蓋シ事業界ニ
 於ケル秩序の復興ニ基ク自然ノ趨勢ニ因ルモノト見ルヘキナリ左ニ參考ノ爲メ倫敦市場ニ就キ各
 種金屬ノ四十一年及四十二年中ニ於ケル最高最低相場ヲ掲クヘシ

鑛種	明治四十二年		明治四十一年	
	最高	最低	最高	最低
銀	五月 二四・八分七	十月 二二・三六分一	一月 二七・〇	十二月 二二・〇
銅	三月 六四・八分一	一月 五四・二分一	十一月 六六・四分一	六月 五六・四分一
鐵 (クリーブランド)	十月 五二・八片	三月 四六・〇	五月 五六・三片	二月 四七・五片半
錫	十二月 一五四・四分一	一月 一二三・二分一	三月 一四七・〇	一月 一一八・〇
鉛	三月 一三・四分三	六月 一二・八分三	一月 一五・〇	五月 一二・八分三
安質	一月 三四・〇	六月 二八・〇	一月 三六・〇	九月 三〇・〇
亞鉛	十一月 二三・四分一	一月 二一・〇	二月 二二・〇	七月 一八・〇

石炭市場ハ前年來不況ノ餘勢ヲ承ケ荷動未タ充分ナラス生産、貯炭共ニ前年ニ比シ大約一分方ノ増加ヲ示シ而シテ平均炭價ハ一分二厘乃至五分前後ノ低落ヲ告ケタリ

石油市場ハ先年來ノ好況俄カニ一頓挫ヲ來シ年初早々軟弱ヲ示シタル商勢ハ年末需要季節ニ入ルモ依然トシテ著シキ發展ヲ見サリシ而シテ其平均市價ヲ見ルニ米油「チヤスタ」ハ大約一分又國油寶玉ハ七分方ヲ下落セリ

左ニ主要鑛產物ニ就キ同年中ニ於ケル市況ノ梗概ヲ記述スヘシ

銀

四十二年大阪市場ニ於ケル年平均市價ハ一貫目百三十一圓五十八錢ニシテ前年ニ比シ四圓八十八錢ヲ下落セリ同年中ニ於ケル相場ハ其變動ノ範圍比較的狹少ニシテ月平均市價ニ付テ見ルモ最高最低ノ差僅ニ三圓五十錢ニ過キサリシ蓋シ前年末ニ於ケル銀價ノ暴落ハ過去五箇年以來稀ナル現象ナリシカ四十二年ニ入り漸次高氣配ニ轉シ遂ニ一月ニ於テ百三十一圓七十四錢ノ高値ヲ現出セリ爾來一進一退ノ間ニ強氣ヲ持シ全年ニ於ケル經過概シテ平穩ニ終レリ今大阪及倫敦市場月別平均市價ヲ前年ト對照シテ示セハ左ノ如シ

月	次	大 阪 (一貫目)	倫 敦 (一オンス)
一	月	明治四十二年 一三一・七四〇 ^四	明治四十二年 二二・八三四 ^片
		明治四十一年 一四七・八七〇 ^四	明治四十一年 二五・七三八 ^片

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二
均	二	一									
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
一三一・五八〇	一三三・五七〇	一三〇・七四〇	一三〇・〇六〇	一三一・六一〇	一三一・〇五〇	一三〇・三六〇	一三二・七三〇	一三三・〇五〇	一三一・二四〇	一三〇・九六〇	一三一・九一〇
一三六・四六〇	一二七・五三〇	一二九・四九〇	一三一・五八〇	一三一・七三〇	一三二・八二〇	一三四・九八〇	一三四・八二〇	一三八・〇一〇	一四〇・三八〇	一四二・二七〇	一四六・〇三〇
二三・七二六	二四・〇三〇	二三・三五一	二三・五〇二	二三・七四三	二三・五八八	二三・五一九	二四・一六六	二四・三四三	二三・七〇八	二三・二二七	二三・七〇六
二四・四〇二	二二・四九三	二二・九三三	二三・七二五	二三・八七七	二三・八五八	二四・五一四	二四・七六〇	二四・三七七	二五・一三三	二五・五七〇	二五・八五五

次ニ四十二年中倫敦市場ニ於ケル銀價ノ變動ヲ概觀スルニ前年中ニ於ケル銀塊相場ハ一月ノ二十
七片ヲ最高トシテ爾來引續キ下落一方ニシテ殆ント底止スル所ヲ知ラサルノ有様ナリシカ同年末
ニ至リ支那銀行及印度ニ於テ巨額ノ銀塊ヲ買收シタルニ依リ倫敦市場在荷ノ拂底ヲ來シ爲メニ市
況俄ニ好調ヲ呈セリ此狀勢ハ四十二年新正以來銀市場ニ對シ多大ノ刺戟ヲ與ヘ一月初相場トシテ

現物二十三片一八八先物二十三片一二五ノ高値ヲ唱ヘシメ更ニ同月末受渡期ニ及ヒ多額ノ現物ヲ要シタリシヲ以テ一時二十四片臺ニ奔騰シタリシカ支那銀行ハ如上ノ好機ニ乗シ曩ニ買入レタル銀塊ヲ盛ニ賣放チタルニ依リ市況一轉軟弱ニ傾キ再ヒ二十三片臺ニ戻レリ爾後三月ニ至ル間ハ軟勢依然トシテ市價ノ昂騰ヲ制シ人氣頓ニ挫折シ同月初旬ノ二十三片〇六三八實ニ全年中ノ最低値タリ越ヘテ四月ニ入ルニ至リ支那及印度筋ヨリ巨額ノ買注文現ハレ相場モ亦漸進的氣勢ヲ占メ五月ニハ二十四片臺ニ昂騰シ六月中旬ニ至ル迄ハ健強ナル市況ヲ持續セシカ月末頃印支同盟賣放ニ依リ商勢再變市況次第ニ不味ニ陷リタリ而シテ七八九ノ三箇月間ハ支那及印度筋ヨリノ賣物買物屢々市場ニ出現シ爲メニ前途ノ成行如何ニ對シ多少不安ノ素因ヲ招致シタリシモ概シテ二十三片臺ニテ保合ヒ場面強含ノ傾向ヲ示シタリ然レトモ大勢既ニ軟弱ニ傾キタル折柄十月ニ於ケル印度思惑筋ノ投資ハ更ニ市場ノ人氣ヲ阻害スルコト甚タシク同月中旬頃ヨリ遂ニ漸落ノ止ムナキニ至レリ斯クテ十一月ヲ過キ極月中旬ニ及ヒ二十四片三一三ノ高値ヲ現ハシ年末ニ至ル迄好況ニアリタルハ印度政府ノ銀準備ニ巨額ノ減少ヲ來シ早晚準備銀ノ買收ヲ開始スヘキ豫想ト倫敦市場ニ於ケル銀塊在荷ノ稀簿トナリタルコト及歐洲大陸並ニ東洋市場ヨリ見越買注文ノ續發シタルコトニ歸因スルモノト推測セラレタリ

以上畧述セルカ如ク四十二年中倫敦市場ニ於ケル銀相場ハ年平均ニ於テハ前年ニ比シ僅ニ零片六七六ノ低落ニ過キスシテ各月ニ於ケル相場ノ變動モ亦比較的平穩ニ經過セルヲ見ルヘシ然カモ月次變動ノ原因カ主トシテ支那及印度ニ於ケル銀ノ運用如何ニ依リ決定セラル、觀アリタルハ閑却

スヘカラサルコト、ス想フニ支那ハ依然トシテ銀塊ノ好華主タルヲ失セスシテ四十二年中英國ヨリ同國ニ輸出セラレタル銀塊ハ十二月十六日迄ニ百八十八萬餘磅ノ巨額ニ達シ又印度ヨリモ上海ヘ向ケ多額ノ銀塊ヲ輸出セリトノ事實アルニ稽フルモ支那市場カ四十二年中ニ吸收シタル銀塊ハ莫大ノ數量ナリシコトヲ知ルヘキナリ印度市場ニ於テモ英國ヨリノ輸出高ハ前年ニ比シ百八十九萬磅ノ減少ヲ見タリシモ尙ホ且六百五十二萬餘磅ヲ輸納セリ只同市場ニ於テ四十二年中投機的賣買ノ旺盛ナリシハ銀市場ニ發生セル新個ノ現象ト見ルヘク之カ爲メ往々市況ノ成行ニ關スル觀測上多大ノ氣迷ヲ生セシメタリ更ニ歐洲大陸ノ市場ニ付テハ獨逸ハ補助貨増鑄ノ必要上約百三十八萬磅前年ハ約五十萬磅又露國ハ約百三萬磅前年ハ約三十六萬磅ヲ收納セリト云フ尙ホ參考ノ爲メ英國ヨリ極東ニ仕向ケタル銀塊輸出高十二月十六日迄ヲ掲クレハ左ノ如シ

	明治四十二年	明治四十一年	比較増減(△印ハ減)
印度	六、五二一、四〇〇 ^磅	八、四二二、三九〇 ^磅	△ 一、八九〇、九九〇 ^磅
支那	一、八八五、〇〇〇	六四一、四〇〇	△ 一、二四三、六〇〇
海峽殖民地	一一四、六〇〇	一六四、八八五	△ 五〇、二八五
計	八、五二一、〇〇〇	九、二二八、六七五	△ 六九七、六七五

銅

大阪市場ニ於ケル四十二年平均市價ハ百斤三十二圓八錢ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ九十六錢ヲ下

落セリ今年中市價變動ヲ見ルニ前年十二月ノ三十三圓八十九錢ハ一月ニ入り三十三圓二十五錢ニ下リ更ニ漸下シテ三月ニハ三十一圓臺トナリ四月ニハ外國相場ノ昂騰ニ伴レ稍々氣配ヲ持チ直シ越ヘテ五月ニ於テハ輸出約定モ相應ニ取結ハレ逐日引締ノ商勢トナリ七月ニ至ル迄三十二圓臺ヲ以テ保合ヒシカ八月ニ入り氣勢再變下向トナリ遂ニ十月ニハ三十一圓三十六錢ノ暴落値ヲ告ケタリ之レ當年ノ最低價ニシテ爾後外國市場ニ於ケル騰貴ト共ニ徐々トシテ高調ニ向ヒタリシモ氣勢頗ル緩漫ニシテ内地市況ハ依然トシテ靜穩ニ歸シ十二月ノ三十二圓三十七錢ヲ以テ越年セリ然レトモ内地在荷ノ稀薄ナルト海外相場ノ高調トニ依リ相場ハ比較的手堅キ模様ナリシ

次ニ領事ノ報告及其他ノ情報ヲ綜合シ四十二年倫敦市場ニ於ケル銅價ノ變動ヲ概觀スルニ年初一月ノ六十一磅一九七ハ着々下向トナリ二月中輕微ナル回復ノ氣勢ヲ示シタルモ市況俄ニ沈下シ二月ニハ五十六磅二三一ナル近年稀有ノ最低價格ヲ現ハセリ蓋シ四十二年ニ於ケル銅價ハ前年來ノ趨勢ニ照シ多少好況ナルヘキヲ期待セシメタリシカ豫想ハ全然之ト相反シ初月以來氣勢更ニ振ハス偶々米國ニ於ケル滯銅賣出ノ風説ハ愈々市場ノ人氣ヲ挫折シ投機的商策筋モ何等ノ商畧ヲ施スニ由ナク遂ニ如上暴落ノ止ムナキニ至レルカ如シ然レトモ市價ノ低落ハ却テ一般消費筋ノ需要ヲ劇増セシメ現物ノ吸收セラルハコト僅少ナラサリシヲ以テ四月以後商勢一變市價漸進ノ端緒ニ着キ同月ニ於ケル五十七磅三六三八六月ニ至リ五十九磅六二七ニ昂進セリスクテ八月ニ於テハ市場一般ニ寂寞ヲ極メ取引頗ル閑散狀態ニアリシカ中頃ニ至リ米國市場ノ在荷著シク稀薄トナリ七月中約一萬四千噸ヲ減少セリトノ入報アリ茲ニ於テカ投機商ハ銅ノ前途ヲ見越シ爭フテ先物ヲ買煽

リタルヲ以テ一時六十一磅臺ヲ超ユルノ盛況ヲ呈シタレトモ結局六十磅臺ニ落付キタリ去レト最近歐米諸國ニ於ケル船舶、諸機械、兵器等ノ諸工業漸ク活動シ來リ現物ノ買入自然増進シ來レルヲ以テ氣先強含ヲ示シ先物ト雖モ六十磅臺ニテ相應ノ手合アリタルノミナラス現物ノ如キハ五十九磅臺ヲ下ルコトナカリシ九月ハ大體ニ於テ前月ノ好況ヲ維持シ月ノ初旬ニ在テハ市況概ネ好調ナリシモ中頃ニ至リ米國ニ於ケル八月中ノ產銅額、輸出高、在荷數及消費高等ニ關スル統計發表セラレ米國在荷ノ著シク増加セルコト明瞭トナリシヲ以テ忽チ投機的投賣ヲ誘起シ爲メニ現物ハ五十八磅先物ハ五十九磅ニ下リ尙ホ下押ノ氣味アリシカ恰モ消費筋ヨリ一注文現ハレ又當時市場ニ流布セラレタル米國「モンタナ」州ニ於ケル銅坑罷業ノ噂ハ同國產銅ノ減少ヲ見越シテノ投機買トナリ市面頗ル活氣ヲ催フシ現物ハ五十九磅又先物ハ六十磅迄引戻シタリ其後銅坑罷業モ無事解決セラレ消費筋ノ需要モ薄ラキタルカ爲メ曩ニ見越買ヲ爲シタル者ハ市價ノ如何ニ關セス賣放ヲ試ミタルニ依リ十月ニ於テハ五十七磅五五一ニ暴落シ十一月ニ入ルモ狀勢依然トシテ格別ノ發展ヲ見サリシカ同月ニ於テハ製產制限ヲ目的トセル米國主要銅坑ノ合同ニ關スル風説アリ又思惑筋ノ投機賣買旺シニ行ハレタルヲ以テ自然相場ニ亂高下ヲ見タリト雖モ前月ニ比スレハ概シテ高準ヲ保チ月ノ中旬ニハ現物ニ對シ六十磅ノ高値ヲ唱フルノ好況ヲ呈セリ

月	次	大	阪	倫	敦
		明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年
月		三三・一五〇	三五・五三〇	六一・一九七	六二・三八六
		円	円	磅	磅

平	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	十
均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
三二・〇八〇	三二・五三〇	三一・四〇〇	三一・八七〇	三二・三三〇	三二・五四〇	三二・一五〇	三一・五三〇	三一・六八〇	三一・三六〇	三一・九〇〇	三二・三七〇
三三・〇四〇	三五・〇五〇	三三・八四〇	三三・三一〇	三一・三五〇	三〇・四四〇	三〇・四八〇	三二・五一〇	三三・〇〇〇	三二・七八〇	三四・三三〇	三三・八九〇
五八・七四七	五七・八六八	五六・二三一	五七・三六三	五九・三三八	五九・六二七	五八・五五六	五九・三九三	五九・〇二一	五七・五五一	五八・九一七	五九・九〇六
五九・九〇二	五八・七八六	五八・七六一	五八・三三一	五七・三八七	五七・八四二	五七・九八九	六〇・五〇〇	六〇・三三八	六〇・一三九	六三・四一七	六二・九四三

鐵

四十二年ニ於ケル本邦洋鐵市況ハ前年來不景氣ノ餘響未タ消失セス殆ント全年ヲ通シ需要閑散ヲ極メ其相場モ亦甚タ不味ニ終レリ大體ノ商況既ニ斯ノ如クナルヲ以テ初春以來外國ヘノ注文モ爲シ得ル丈ケ手控ヘタル結果往々在荷稀薄ヲ告クルニ拘ラス相場ハ依然トシテ引立タス漸ク需要季

節タル十、十一月ノ交ニ及ヒ外國相場ノ昂騰ニ伴レ多少氣配ヲ見直シタリシモ底行頗ル薄弱ニ見ヘ
 タリ今東京丸鐵四分及横濱「レ」トカー「輸入標準相場ノ月別平均ヲ前年ト比較シテ示セハ左ノ如シ

月次	東京丸鐵四分 (十貫目)												横濱「レ」トカー (百斤)											
	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年
一	二・八三〇 ^四	二・九七〇 ^四	二・二〇〇 ^四	二・二五〇 ^四	二・七九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七二〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七二〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
二	二・七九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
三	二・七二〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
四	二・六九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
五	二・六五〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
六	二・六一〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
七	二・五四〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
八	二・五八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
九	二・五九〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
十	二・七六〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇	二・七八〇	二・九七〇	二・二〇〇	二・二五〇
平均	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇	二・六八〇	三・〇〇〇	二・二五〇	二・三九〇

次ニ世界ノ主要鐵鋼業國タル英米ニ於ケル斯業ノ商勢ヲ概觀スルニ殆ント全年ヲ通シ其不振ナリシコト決シテ前年ニ讓ラサル所ナルカ漸ク下半季ニ入り多少氣配ヲ持チ直シ年末ニ及ヒ増々其氣勢ヲ昂進セリ左ニ英國市場ニ於ケル市況ノ一斑ヲ畧叙シ以テ參考ニ資セントス

英國鐵市場ニ於ケル鐵及鋼ニ關スル業務ハ各方面ニ於テ頗ル悲觀的資料ヲ以テ充タサレ市況ノ沈靜ハ前年ニ比シ更ニ一步ヲ進メタルノ觀ナキニアラサリシカ全年ニ於ケル經過ヲ仔細ニ觀察スルトキハ其間多少ノ光明ヲ認メサルヲ得サルモノアリ即チ前年ニ於テハ年初ヨリ年末ニ至ル迄價格漸下ノ趨勢ヲ以テ一貫シ毫モ回復ノ徵候ヲ認ムルニ由ナカリシカ四十二年ニ於テハ下半季ニ於ケル各種用鐵事業ノ復活ニ伴ヒ市況始メテ生氣ヲ催フシ將ニ積日ノ悲觀ヲ脱却セントスルノ好景氣ニ接セリ而シテ其主因トシテハ造船業ノ復興ニアルコト言ヲ俟タサル所ニシテ即チ鐵材下落ノ爲メ造船費ノ著シク低減セルヲ利用シ戰艦ヲ始メトシ其他ノ船舶ノ建造ニ着手スルモノ多キニ至レルヲ以テ勢ヒ價格ノ昂騰ヲ誘致シタリ此等船用鐵材ノ好況トナリタル結果ハ年末ニ至リ「ヘマタイト、アイロン」ニ迄其影響ヲ及ホシ初秋ニ於テ每噸五十四磅六志ノモノ年末ニ於テハ六十五磅ニ暴騰セリ、鋼軌道業ハ他ノ鐵鋼業ニ於ケルカ如ク不況ノ影響ヲ受クルコト比較的輕微ニシテ全年中其大部分ハ極メテ平調ヲ以テ操業スルコトヲ得タルヲ以テ之ヲ輸出數量ニ鑑ミルモ前二箇年ニ比シ寧ロ良好ナル結果ヲ收メタリ即チ千九百七年ニ五十八萬五千八百六十九噸、八年ニ五十八萬二千三百三噸ナリシモノ九年ニハ七十二萬四千二百九十一噸(鐵道材料)ニ達シタリキ今「クリブラント」銑鐵ニ付キ各月ニ於ケル最高最低市價ヲ示セハ左ノ如シ

月次	最 高	最 低
一月	四九・〇三・〇 ^{志片}	四八・〇三・二分 ^{志片}
二月	四八・〇一・二分一	四六・一〇・〇
三月	四七・〇一・二分一	四六・〇〇・〇
四月	四七・一一・〇	四七・〇二・〇
五月	四八・一一・〇	四七・〇七・二分一
六月	四九・〇二・二分一	四八・〇二・〇
七月	四九・〇三・二分一	四七・一〇・〇
八月	五四・〇一・二分一	四九・〇六・二分一
九月	五二・〇七・〇	五〇・一〇・〇
十月	五二・〇八・〇	五一・〇〇・〇
十一月	五一・〇五・〇	五〇・〇八・〇
十二月	五〇・〇八・二分一	五〇・〇一・〇

米國ニ於テモ年ノ初期ニ在テハ前年來不況ノ結果市場ノ在庫品ハ日々停滯シ爲メニ容易ニ市價ノ昂騰ヲ許サル状態ニアリシカ一般事業界ニ於ケル革新ハ早クモ鐵ノ需要ヲ惹起シ四五月頃ヨリ相當ノ荷捌ヲ見ルニ至リタルヲ以テ市況俄ニ一變シ之ヨリシテ逐月市價ノ向上ヲ見年末ニ及ヒ益々盛況ヲ呈セリ左ニ「ピツツバード」ニ於ケル二三ノ種類ニ付キ平均月別市價ヲ掲ケ參考ニ資ス

銑鐵(ベセマー)

鋼(ベセマー)
ビレット

軌

條

月次	銑鐵(ベセマー)	鋼(ベセマー) ビレット	軌條
一月	一七・一八	二五・〇〇	二八・〇〇
二月	一六・七三	二五・〇〇	二八・〇〇
三月	一六・四〇	二三・〇〇	二八・〇〇
四月	一五・七九	二三・〇〇	二八・〇〇
五月	一五・七七	二三・〇〇	二八・〇〇
六月	一六・二三	二三・〇〇	二八・〇〇
七月	一六・四〇	二三・五〇	二八・〇〇
八月	一七・一六	二四・一六	二八・〇〇
九月	一八・四四	二五・〇〇	二八・〇〇
十月	一九・七五	二六・〇〇	二八・〇〇
十一月	一九・九〇	二七・一五	二八・〇〇
十二月	一九・九〇	二七・二〇	二八・〇〇
平均	一七・四六	二四・五八	二八・〇〇
前年平均	一七・二三	二六・二五	二八・〇〇

四十二年中米國ニ於ケル銑鐵ノ製產狀況ヲ見ルニ前年ニ於テハ製產力ヲ手控ヘタル結果其總產額千五百九十三萬六千十八噸ニシテ其前年ニ比シ約三割八分ノ減少ヲ見タリシモ四十二年ニ於テハ

一躍二千五百七十一萬千八百四十六噸ノ巨額ニ達シ然カモ後半季ニ於ケル產額ノ増加ハ明カニ同國製產力ノ恢復ヲ證明シテ餘アリ之レ同季ニ於ケル鐵價ノ高調ニ伴フ自然ノ現象ナルコト疑ヲ容レサル所ナリ今過去三年間ニ於ケル各半季ノ產額ヲ示セハ左ノ如シ

年 次	上 半 季	下 半 季	計
四 十 二 年	一三、四七八、〇四四 ^噸	一二、三〇三、三二七 ^噸	二五、七八一、三六一 ^噸
四 十 一 年	六、九一八、〇〇四	九、〇一八、〇一四	一五、九三六、〇一八
四 十 年	一一、〇二二、三四六	一四、六八九、五〇〇	二五、七一一、八四六

石 炭

本年ノ石炭市場ハ前年來不況ノ餘勢ヲ承ケ荷動キ未タ充分ナラス生産貯炭共ニ前年ニ比シ大約一分内外ノ増加ニシテ平均炭價ハ一分二厘乃至五分前後ノ低落ヲ告ケタリ之ヲ主要ナル產地別ニヨリ觀察スルニ常磐唐津地方ハ比較的好況ニシテ北海道方面尤モ不振ヲ極メ而シテ一大產地タル筑豊ハ殆ント其中位ニ在リタリ今之カ主タル原因ヲ調査スルニ北海道ノ各炭山ハ海港ニ達スル距離頗ル遠キノミナラス海岸ニ於ケル市場ノ位置亦一方ニ僻在スルヲ以テ運炭上ノ失費稍々大ナルニ拘ハラス其生産制限ノ程度未タ充分ナラスシテ此等ノ狀態ニ適應セス却テ前年ノ產額ニ比シ猶ホ幾多ノ増加ヲナシタルニヨリ甚シク需要供給ノ調和ヲ失シタルニ歸因シ唐津及筑豊ハ夙ニ内外ノ大勢ニ鑑ミ孜孜トシテ内部ノ整理ヲ行ヒ生産原價ノ削減ヲ圖リタルト同時ニ相共同シテ產額ヲ減

少シ以テ市場ニ於ケル貯炭ノ減少策ヲ講シタルニ依リ又常磐地方ハ其位置消費地ニ接近シ地理上ノ利益多大ナルカ上ニ其生産ノ大部分ハ鐵道用炭ナルニ依リ隨時偶發セル市場ノ波瀾ヲ受クルノ程度些少ナリシニ因ルモノ、如シ

一年ヲ通シタル概評ハ前記ノ如ク未タ不況ヲ免ル、能ハサリシト雖モ試ニ各月別炭價ノ大勢ヲ稽査スレハ上半季ト下半季トハ著シク其狀況ヲ異ニシ下半季ニ於テハ既ニ炭價低落ノ頂點ヲ經過シ徐々トシテ恢復ノ氣運ニ向ヘルコトヲ察スルヲ得ヘシ語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ上半季ニ在リテハ一般產業界ノ恢復ヲ豫想シ得ヘキ曙光ナキニアラサリシモ猶ホ其程度遅々トシテ俄ニ石炭ノ需要ヲ増加シ得ヘキ材料ニ乏シク外ニ在リテハ撫順、開平、山東炭等支那炭ノ勃興ハ愈々事實トナリテ各方面ニ現ハレ動モスレハ北清及滿韓地方ニ於ケル我輸出市場ヲ蠶食セントスルノ形勢アリタルヲ以テ炭價モ亦保合若クハ低落ノ傾向アリテ常ニ軟弱ノ氣配ヲ呈セシモ下半季ニ入ルニ及ヒ金利ハ益々低落シテ各般ノ事業ニ對スル増資漸ク行ハレントシ内地工業用炭ノ需要亦次第ニ増加ノ傾向ヲ帶ヒ來リタルノミナラス銀價ノ挽回及濠洲炭坑同盟罷工等アリテ輸出炭ニ對スル希望愈々活躍シテ茲ニ氣配ヲ引直シ炭價ハ保合ノ狀態ヨリ強含ミトナリ年末ニ及ヒテハ北海炭ヲ除クノ外皆幾分ノ値上ヲ行ヘリ

左ニ九州、磐城及夕張石炭ノ月別炭價表、四十二年平均炭價ノ前年ニ對スル比較表及市場貯炭高表ヲ掲ク

月別炭價表

月別	九州炭(門司市場)				同(東京市場)				磐城炭(隅田川市場)		夕張炭(小樽市場)	
	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年
一	五二・九八	五二・九八	四九・二八	四九・五二	四・六七	四・一五五	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
二	五二・九八	五二・九八	四八・六六	四九・七〇	四・一・七	四・一七三	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
三	五二・九八	五二・九八	四八・〇三	四九・七六	四・一・五五	四・一六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
四	五二・九八	五二・九八	四七・九二	四九・七六	四・一・四三	四・一七九	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
五	五二・九八	五二・九八	四七・八〇	四九・七〇	四・〇・二一	四・一八七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
六	五二・九八	五二・九八	四七・七四	四九・七〇	四・一・五五	四・一八七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
七	五二・九八	五二・九八	四八・二四	四九・六四	四・一・四	四・一六六	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
八	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	四・一・六七	四・一八七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
九	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・六一	四・一・五五	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
十	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・五八	四・一・六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
十一	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・六〇	四・一・六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
十二	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・六〇	四・一・六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
下半季平均	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・六〇	四・一・六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇
總平均	五二・九八	五二・九八	四八・八一	四九・二九	三・一・六〇	四・一・六七	六六・四五	六六・九三	三八・〇〇	四・〇〇	六〇・四〇	六三・一〇

備考 東京市場ハ唐津上塊ノ小賣相場、隅田川市場ハ入山並塊炭ノ卸賣相場ナリ

四十二年平均炭價ノ前年ニ對スル比較表

炭種	九州炭			市 場	平均十二年相場	平均十一年相場	比較	同 上	割 合
	一	二	三						
種 炭	種 炭	種 炭	種 炭	門 司	四八・五二	四五・一九	〇・八九		〇・二二
炭 炭	炭 炭	炭 炭	炭 炭	東 京	四〇・三九	四一・六六	一・二七		〇・三〇
炭 炭	炭 炭	炭 炭	炭 炭	隅 田 川	六三・二九	六六・七三	三・四四		〇・五二
炭 炭	炭 炭	炭 炭	炭 炭	小 樽	三七・四九	三九・五四	二・〇五		〇・五二
炭 炭	炭 炭	炭 炭	炭 炭	夕 磐 同	五九・一八	六一・九〇	二・七二		〇・四四
炭 炭	炭 炭	炭 炭	炭 炭	張 城					

市場貯炭高表

市 場	上 半			下 半	季	割 合
	明治四十二年	明治四十一年	增減(△印)	明治四十二年	明治四十一年	增減(△印)
門 司	四七九・四一七	三二三・五四四	五・二九	四〇三・六〇六	四五二・七六九	一・〇七
若 松	一七三・一二四	八八・六二一	九・五四	一四二・七六四	七四・四〇二	九・一九
宇 島	五・七七四	一五・六四二	六・三一	二七・五六三	二六・九五八	〇・二二
唐 津	八六・一五四	五六・六二四	五・二二	六三・五九七	一〇四・九三五	三・九四
隅 田 川	一三・一七二	一八・三三七	二・八二	一一・五五六	一八・六三二	三・一六
小 樽	四〇・一六一	四六・七四四	一・四二	五二・九五二	三三・三五三	五・八八

計	室蘭	釧路
八九一、一五九	九三、三五七	一
六〇二、三三四	六二、八〇二	一
四・七九	四・八七	一
八九七、一〇六	一九一、八四二	三、二二七
七六八、三七九	五八、三三〇	一
一・六八	二二・八九	一

之ヲ要スルニ石炭市場本年ノ不況ハ一般經濟界ノ不振ニ伴隨セルモノニシテ需要ニ對スル生産ノ超過ノ如キハ鑛業ノ性質上頓カニ過度ノ減少ヲ行フ能ハサル結果タルニ過キス年々九分以上ノ自然的増加アリシ過去ノ實蹟ニ對シ本年僅カニ一分ヲ増加セルハ以テ當業者苦衷ノ存スル處ヲ見ルヘク其効果ノ意外ニ顯著ナリシヲ察スヘシ若シ此ノ大勢ヲ以テ推移セハ再ヒ著シク需要供給ノ權衡ヲ失シテ將來甚シキ不況ニ陷ルヲ豫想スル能ハス今ヤ濠洲炭坑ノ同盟罷工ノ如キ一時的好原因ヲ外ニスルモ我内地産業ノ恢復ハ頗ル堅實ノ步調ヲ以テ進ミ行クヲ以テ炭價モ亦大ニ有望ナリト云フヲ得ヘシ

石油

原油ハ燈油ノ騰貴ニ伴ヒ近來未曾有ノ好調ヲ呈シ殊ニ四十、四十一年ニ於ケル奔騰ハ蓋シ空前ノ市況ナリシカ四十二年ニ於テハ形勢俄ニ一變シ東山原油ハ前年ノ六圓十八錢ニ對シ五圓三十二錢又新津原油ハ前年ノ二圓九十八錢ニ對シ二圓三十七錢ヲ示シ何レモ一割四分乃至二割一分ヲ下落セリ

今最近五箇年ニ於ケル兩油田原油ノ一石建年平均市價及四十一、四十二年中ニ於ケル月別市價ヲ示セバ左ノ如シ

年次	東山油田	新津油田(小口)
三十八年	四・七一〇 ^円	一・二六〇 ^円
三十九年	四・七三〇	一・四一〇
四十年	六・〇三〇	二・三五〇
四十一年	六・一八〇	二・九八〇
四十二年	五・三二〇	二・三七〇

月次	東山油田		新津油田	
	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年
一	五・五〇〇 ^円	六・五〇〇 ^円	二・四〇〇 ^円	三・二〇〇 ^円
二	五・五〇〇	六・五〇〇	二・四〇〇	三・二〇〇
三	五・四〇〇	六・五五〇	二・四〇〇	三・六〇〇
四	五・四〇〇	六・四〇〇	二・四〇〇	三・二〇〇
五	五・三〇〇	六・二五〇	二・四〇〇	三・〇〇〇
六	五・二〇〇	六・一〇〇	二・四〇〇	三・〇〇〇
七	五・二〇〇	六・〇〇〇	二・四〇〇	二・七〇〇

平	十	十	十	九	八
均	二	一			
	月	月	月	月	月
五・三二〇	五・二〇〇	五・三五〇	五・三五〇	五・二〇〇	五・二〇〇
六・一八〇	五・五〇〇	五・九〇〇	六・二〇〇	六・一〇〇	六・一〇〇
二・三七〇	二・三〇〇	二・四〇〇	二・四〇〇	二・二五〇	二・二五〇
二・九八〇	二・六〇〇	二・八〇〇	二・八五〇	二・八〇〇	二・八〇〇

次ニ同年中ニ於ケル内外燈油ノ商況ヲ概觀スルニ先年來ノ好況俄カニ一頓挫ヲ來シ新春早々商勢
 稍々軟弱ニ傾キタリ爾來各月ニ於ケル市價ノ變動ヲ見ルモ氣勢更ニ昂カラス全年ヲ通スル平均市
 價米油「チャスター」ハ三圓九十四錢國油寶玉印ハ三圓三十四錢ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ前者ハ一
 分、後者ハ七分七厘方ヲ下落シ近年稀ナル不況ヲ以テ越年シタリ憶フニ石油市場ハ四十年末季ノ頃
 ヨリ内外油共稀有ノ盛況ヲ呈シ市價ノ奔騰逐年相次キ殆ント底止スル所ヲ知ラサリシカ内地產油
 ノ増加ハ勢ヒ油業者間ニ於テ競賣狀態ヲ演出シ販路競奪ノ結果遂ニ市價低落ノ素因ヲ爲シタルモ
 ノ、如シ之カ爲メ内國油ハ四十一年末最大需要季節ニモ拘ハラズ相場ノ亂調甚タシカリシ爲メ由
 來超然ノ態度ニ在リタル外油迄其影響ヲ受ケ稍々動搖セントスルノ形勢ヲ示シタルヲ以テ市場前
 途ノ成行ヲ氣構ヘ商談容易ニ進マス各地共在荷ノ停滯ニ苦ムルノ悲境ニ陥リタルカ故ニ一月ニ於
 テハ市況甚タ不味ニシテ「チャスター」ヲ除クノ外ハ何レモ低落値發表ノ止ムナキニ至レリ之ヲ石油

界ニ於ケル下落ノ端緒トシテ二月ニ於テハ米油先ツ安値ヲ告ケ次テ内國油及「タンク」モ七八錢方ヲ程度トシテ値下ヲ爲シタルヲ以テ久敷沈靜ニ傾キタル油界ハ更ニ一段ノ悲觀ヲ催フシ各地共目覺シキ荷動モナク僅カニ當面ノ薄商談ヲ見ルニ過キサリシ斯クテ三月ヲ過キ四五月頃ハ目先需要薄ノ季節ヲ控ヘ居ルコト、内外油幾分ノ値下ヲ見ルハ殆ント常例トシテ見做サレ敢テ怪ムニ足ラサリシモ外油ノ低落甚タシカリシハ之レ全ク滯貨賣急ノ爲メ一時的の商畧ニ出タルモノナリト傳ヘラレタリ爾後七八月ニ至ル間ハ全ク石油市場ノ休養季節トモ云フヘク市場一般ニ閑靜ヲ極メ市價亦大體ニ於テ保合ノ姿ニアリシカ商勢ハ依然トシテ下押ノ氣味ヲ含ミ居レリ之ヨリ先國油側ハ昨年以來ノ狀勢ニ鑑ミ賣價ノ協商ヲ遂ケ互ニ濫賣ヲ戒メ以テ市價ノ低落ヲ制止シ又一面ニ於テハ販賣擴張ニ努メタルヲ以テ國油ノ荷動キ漸ク圓滿ニ復歸セントスル折柄九月ニ入り「チャスタ」先ツ三錢高ヲ發表シ國油亦之ニ應シテ値上ヲ爲シ茲ニ内外油對峙ノ商況ヲ呈セリ然レトモ需要季節ヲ眼前ニ控居ルコト、テ相應ノ荷捌ナキニアラサリシモ持荷ノ滯積ハ内外油共互ニ賣急キノ傾向アリシ爲メ多少行間ノ氣味アリテ相場ハ甚タ不活潑ニ過キ年來大需要季節ニモ拘ハラズ遂ニ昂騰ノ氣運ニ向ハサリシ今内外油ノ月別平均市價ヲ前年ニ對比セハ左ノ如シ

月別	種別	東京チャスタ		東京タンク		長岡寶玉印		長岡黒大勝利	
		四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年
一	月	円 四・〇一〇	円 三・八七〇	円 三・七〇〇	円 三・六二〇	円 三・六八〇	円 三・四五〇	円 二・五〇〇	円 三・〇五〇
二	月	円 三・九四〇	円 三・九二〇	円 三・六二〇	円 三・七二〇	円 三・二三〇	円 三・四五〇	円 二・五〇〇	円 三・一〇〇

錫

平 均	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月
三・九四〇	三・九五〇	三・八七〇	三・九四〇	三・九四〇	三・九四〇	三・九四〇	三・九四〇	三・九三〇	三・九二〇	三・九〇〇
四・〇〇〇	四・〇四〇	四・〇六〇	四・〇八〇	三・九九〇	三・九一〇	三・九四五	三・九六〇	三・九八〇	三・九八〇	三・九八〇
三・六五〇	三・六〇〇	三・六〇〇	三・六〇〇	三・六〇〇	三・六〇〇	三・六五〇	三・七〇〇	三・六六〇	三・六六〇	三・六四〇
三・七五〇	三・七五〇	三・七五〇	三・七五〇	三・七五〇	三・七五〇	三・八〇〇	三・八〇〇	三・八〇〇	三・八〇〇	三・七六〇
三・二六〇	三・四〇〇	三・四〇〇	三・四〇〇	三・四〇〇	三・三〇〇	三・二九〇	三・三二〇	三・三二〇	三・三七〇	三・三六〇
三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六八〇	三・六四〇
二・四〇〇	二・四〇〇	二・三〇〇	二・二八〇	二・二八〇	二・二八〇	二・二〇〇	二・二〇〇	二・二七〇	二・二〇〇	二・三一〇
三・三三〇	三・三三〇	三・〇〇〇	二・九五〇	二・八三〇	二・七五〇	二・七五〇	二・七五〇	二・七五〇	二・七〇〇	二・九二〇

四十二年中大阪市場ニ於ケル錫ノ年平均相場ハ百斤ニ付八十圓五十九錢ニシテ前年ニ比シ一圓二十錢ヲ下落セリ今年年中ニ於ケル市價ノ變動ヲ觀ルニ一月ニハ八十一圓十六錢ニシテ前年末ニ比シ多少氣配ヲ持直シタリシモ二月ニ入り幾分軟弱ニ傾キ爾來十月ニ至ル迄ハ大ナル變動モ見ヘス

七十八圓乃至八十圓九十錢ノ間ヲ昇降セシカ十一月ニ及ヒ氣勢頓ニ回復シ之ヨリ市況昂進シ遂ニ十二月ニ於テハ八十三圓九十錢ノ珍值ヲ現出セリ

次ニ紐育市場ニ於ケル錫相場ノ變動ヲ概觀スルニ年初二三箇月間ハ極メテ不況ヲ呈セシカ爾後米國ニ於ケル需要劇増ニ依リ市場ノ在荷不足ヲ告ケ加フルニ世界ノ消費者ハ重ニ海峽殖民地及蘭領印度等ノ供給ニ倚賴スルノ實情ナルニ支那商人カ歐洲市場ヲ左右セントスルノ商畧ニ出テタルヲ以テ同地方ヨリノ船積減少シ著シク在庫品ヲ拂底セシムルニ至リタルカ爲メ市場俄カニ活氣ヲ帶ヒタリ即チ一、二月ニ二十八仙臺ナリシモノ三月末ニハ二十九仙七五〇トナリ遂ニ四月ニハ平均市價二十九仙四四五ヲ示スニ至レリ越テ五月ヨリ八月マテハ市況再ヒ沈靜ニ歸シ錫ノ特色タル激烈ナル變動モ見ヘス殆ント保合ノ姿ナリシカ倫敦商人ノ買注文仲々手堅キヲ以テ市價ハ益々昂騰シ九月末ニハ三十仙七五〇ニ昂進セリ而シテ十月中ニハ金融ノ引締リタル結果紐育ノ投機者ハ錫ノ輸入價格以下ニテ賣放シタルモ一方倫敦市場ハ米國ニ於ケル消費的需用カ引續キ良好ナルコトヲ想見シタルカ爲メ市價ハ一層堅實ニ維持セラレ十二月中旬ニハ紐育ニテ三十二仙七五〇ノ高值ヲ唱ヒ更ニ月末ニハ三十三仙七五〇乃至三十四仙ノ珍值ヲ現ハシ同月ノ平均市價三十二仙九一三ヲ以テ年ヲ終ヘタリ

四十二年中大阪市場及紐育市場ニ於ケル各月平均市價ヲ前年ト對照セハ左ノ如シ

月次	大 阪 市 場 (百斤)		紐 育 市 場 (一封度)	
	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年

鉛

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
均	二	一										
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
八〇・五九〇	八三・九〇〇	八一・三三〇	八〇・八七〇	七九・九六〇	八〇・四七〇	七八・一七〇	七九・七三〇	八〇・三〇〇	八〇・九三〇	八〇・三二〇	七九・九三〇	八一・一六〇 ^四
八一・七九〇	七七・八一〇	八二・一九〇	八〇・七五〇	八二・九三〇	八五・〇九〇	八一・二七〇	八一・二七〇	八四・〇〇〇	八六・四三〇	八二・四八〇	七八・七九〇	七八・五六〇 ^四
二九・七二五	三二・九一三	三〇・八五九	三〇・四七五	三〇・二九三	二九・九六六	二九・二二五	二九・三二二	二九・二二五	二九・四四五	二八・七二七	二八・二九〇	二八・〇六〇 ^四
二九・四六五	二九・一四四	三〇・三四八	二九・四四四	二八・八一五	二九・九四二	二九・二〇七	二八・〇二四	三〇・〇一五	三一・七〇二	三〇・五七七	二八・九七八	二七・三八〇 ^四

四十二年ニ於ケル鉛ノ年平均市價ハ八圓三十五錢ニシテ前年ニ比シ僅ニ一錢ノ上騰ヲ示セリ今同

年中ニ於ケル市價變動ノ概況ヲ見ルニ前年十二月ノ八圓二錢ヲ承ケ一月ニハ八圓十六錢ナリシカ
漸次昂騰シ五月ニハ本年中ノ最高値タル八圓六十四錢ヲ現出セリ蓋シ鉛價カスノ如キ急劇ナル昂
騰ヲ來セシハ二月以來濠洲鑛山ニ起リタル鑛夫同盟罷業ノ影響ヲ蒙リ二三月頃ニ於テ本品ノ輸入
噸ニ減退シ又一面ニ在テハ一月以降積雪ノ爲メ内地鉛ノ主產地タル神岡鑛山(本邦鉛總產額ノ七割
乃至八割ヲ占ム)ニ於ケル產鉛ノ市場ニ對スル運搬杜絶シタルカ爲メ在品拂底ヲ告ケタルニ起因セ
ルモノ、如シ其後内地ニ在リテハ融雪ノ季節トナリ冬季間山元ニ貯藏セラレタル製品ハ續々市場
ニ上リ又一方輸入品ノ入津モ復舊シ市場漸ク品潤澤トナリタルヲ以テ六月ニ於テハ八圓四十七錢
ニ下リ漸次低落シテ九月ニハ八圓十錢トナリ其後再ヒ氣配回復歲末ニ至リテハ八圓四十二錢ニ上
騰セリ

次ニ同年中倫敦市場ニ於ケル市況ヲ概觀スルニ年初ニ於テハ在品堆積ノ結果相場下押ノ姿ニアリ
シカ偶々「ブロークンヒル」ニ罷工起リ同所ヨリノ供給全ク杜絶シタルノミナラス反テ英國ヨリ濠洲
ニ向テ積戻ヲ爲スノ已ムナキニ至リタルト又支那モ當時英國鉛ヲ消費セサル可ラサルノ狀況ニ在
リタルヲ以テ價格幾分カ引締リ三月ニ於テハ十三磅四三八ニ上騰セリ然ルニ四月以後ハ消費側ノ
商談モ緩漫トナリ旁々入荷モアリタルヲ以テ一時行キ惱ミノ姿ヲ呈シ爲メニ相場ハ漸ク下向トナ
リ遂ニ七月ニ至リテハ十二磅臺ニ落下セリ此頽勢ハ八月ニ入り最モ甚タシク同月ノ十二磅四七五
ハ實ニ同年中ノ最低價格タリ九月初ヨリ消費筋ノ間ニ可成ノ取引アリ市場モ稍々堅實ナル回復ヲ
來シ市場ハ一般ニ好氣配ニ移リ消費筋ノ需要亦引續キ良好ニシテ從來ノ滯貨ヲ吸收スルニ足ルヘ

キ商談モアリテ氣勢漸進ノ傾向ニ移リタルカ越テ十月ニハ前月末ヨリノ需用急速ニ増加シ他金屬ノ不況ナルニ係ラス鉛價ハ次第ニ引キ上ケラレタリ爾後著シキ變動ナク殆ント保合ノ姿トナリ十二月ノ十三磅一二五ヲ以テ年ヲ終レリ

紐育市場ニ於テモ年初ニ於テハ大統領交迭ノ好景氣ニ伴ヒ一般事業界回復ノ傾向ヲ現ハシ鉛市場ニ對シ好影響ヲ與ヘシカ此氣配ハ僅ニ數日間繼續シタルノミニシテ一月末ヨリ氣勢挫折シ三月ニハ遂ニ三仙臺ニ低落セリ然ルニ其後用鉛工業者カ春季ニ對スル注文ヲ爲シタルニ依リ四月ニハ四仙臺ニ上リ漸進シテ六月ニハ四仙三五〇ニ引上ケラレタリ此間ニ於テハ屢々市場ニ低調子起リシモ各方面ニ於ケル消費極メテ圓滿ニ行ハレタルノミナラス殊ニ包鉛電線ニ對スル費用ハ千九百七年ノ恐慌後稀ナル盛況ヲ呈シタルヲ以テ在荷ノ上ニ多大ノ影響ヲ及ホセシモ其供給順調ヲ得タルカ爲メ市價ノ急劇ナル昂騰ヲ制シ次テ年末ニ至リテハ各方面ノ需用更ニ激増シ來リ之カ爲メ十二月ニハ四仙五六〇ニ奔騰セリ

今大阪、倫敦及紐育市場ニ於ケル月別平均市價ヲ前年ニ對比セハ左ノ如シ

鉛

月次	大阪市場 (百斤)		倫敦市場 (一英噸)		紐育市場 (一封度)	
	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年
一月	四 八・一六〇	四 九・六〇〇	磅 一三・一二三	磅 一四・四六九	仙 四・一七五	仙 三・六九一

平 均	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月
八・三五〇	八・四二〇	八・四〇〇	八・三八〇	八・一〇〇	八・一三〇	八・三二〇	八・四七〇	八・六四〇	八・五二〇	八・三七〇	八・二五〇
八・三四〇	八・〇二〇	八・〇六〇	七・七七〇	七・七八〇	七・八〇〇	七・八四〇	八・三〇〇	八・四九〇	八・四七〇	八・七二〇	九・一七〇
一三・〇四九	一三・一二五	一三・〇四七	一三・一七五	一二・七八一	一二・四七五	一二・五六三	一三・〇三一	一三・二二五	一三・二九七	一三・四三八	一三・三一一
一三・四三九	一三・一五六	一三・五三八	一三・三七五	一三・一二五	一三・三七五	一三・〇〇〇	一二・六〇〇	一二・九三八	一三・四六九	一三・九七五	一四・二五〇
四・二七三	四・五六〇	四・三七〇	四・三四一	四・三四二	四・三六三	四・三二一	四・三五〇	四・二八七	四・一六八	三・九八六	四・〇一八
四・二〇〇	四・二二三	四・三三〇	四・三五一	四・五一五	四・五八〇	四・四四七	四・四六六	四・二五三	三・九九三	三・八三八	三・七二五

安質母尼

四十二年ニ於ケル安質母尼精製ノ年平均市價ハ十五圓八十八錢ニシテ之ヲ前年ノ平均市價十八圓六十五錢ニ比スレハ二圓七十七錢又之ヲ三十九年暴騰當時ニ對比スルトキハ殆ント三分ノ一以下

ニ下落シ他金屬ニ比シ暴落ノ最タルモノトス今四十二年中ニ於ケル市價變動ノ概況ヲ大觀スルニ
 前年十二月ノ十七圓九十二錢ヲ承ケ一月ニハ十七圓九十五錢ナリシカ爾來逐月漸下シ九月ニハ本
 年ノ最低市價タル十四圓四十三錢ニ下レリ十月以降一時回復ノ徵候ヲ示シタリシモ氣勢見ルヘキ
 モノナク遂ニ十二月ノ十四圓六十八錢ヲ以テ年ヲ終レリ

次ニ同年中紐育市場ニ於ケル安質母尼ノ市價變動ヲ見ルニ市場ハ極メテ平靜ニシテ前年ノ平均市
 價八仙〇〇四ニ對シ本年ハ七仙六三三ニ落下セリ之レ濠洲及南歐ニ於テ多大ナル產出アリタルニ
 加ヘテ支那ヨリモ亦多大ノ供給アリタルカ爲ニシテ然モ全年ヲ通シ能ク七仙臺ヲ維持スルコトヲ
 得タルハ蓋シ同國關稅引上ケヲ見越シタルニ因ルモノト推測セラレタリ

今大阪及紐育市場ニ於ケル精製安質母尼ノ月別平均市價ヲ前年ニ對比セハ左ノ如シ

月	次	大 阪 市 場 (百斤)		紐 育 市 場 (一封度)	
		明治四十二年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十一年
一	月	一七・九五〇	二〇・〇〇〇	七・六七五	八・三四四
二	月	一七・四一〇	一九・二七〇	七・五三一	八・四〇六
三	月	一七・二五〇	一九・〇〇〇	七・五〇〇	七・九八八
四	月	一六・九五〇	二〇・三四〇	七・七一八	八・二九七
五	月	一六・一二〇	二〇・〇〇〇	七・八八七	八・二五〇
六	月	一五・八九〇	一九・三三〇	七・八九三	八・〇九四

平 均	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月
一五・五〇〇	一五・一七〇	一四・四三〇	一四・七一〇	一四・五三〇	一四・六八〇	一五・八八〇
一八・一九〇	一七・五九〇	一七・五〇〇	一七・五〇〇	一七・二五〇	一七・九二〇	一八・六五〇
七・三七五	七・六二五	七・五〇六	七・五〇〇	七・六八七	七・六八七	七・六三二
八・二二五	七・八五〇	七・六〇九	七・六二五	七・七七五	七・六八八	八・〇〇四